



花巣蜂

は ち す は な

令和7年8月29日 第5号

新潟市立赤塚中学校

全校生徒149名 男子75名 女子74名

TEL 025-239-2029 FAX 025-239-3313

E-mail j703akatsuka@city-niigata.ed.jp

体験から経験、そして学びへ

33日間の夏休みも終わり、再び授業がスタートしました。これから冬休みまでの間には、風輝祭や合唱祭という大きな行事があります。そこで、「体験から経験、そして学びへ」という視点で今後の赤塚中学校の取組を説明したいと思います。



今年度、赤塚中学校では、「すべての生徒が3年間を楽しく過ごせる学校」をつくることに挑戦しています。これは、「3年間の中学校生活にポジティブな意味づけができる生徒を育てる」ことに挑戦しているということです。そのため『非認知能力』に焦点を当てた取組を工夫しています。

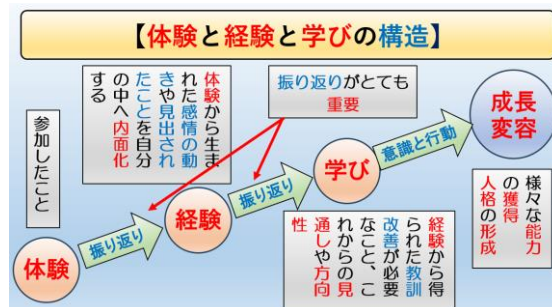
では、『非認知能力』とは何でしょう。「学力」のように、客観的な数値化が可能なものを『認知能力』とすると、それ以外の能力のことで、古くから『心』と呼ばれてきたものともいえます。また、スマートフォンを例にとるとOSに当たります。OSが古いままだと、最新のアプリをインストールしてもうまく動作しません。そこで、バージョンアップが必要になります。そのバージョンアップしていきたいものが、『非認知能力』ということもできます。

赤塚中学校では、『非認知能力』を《向上を目指す3つの力》（自分を高める力・自分と向き合う力・他者とつながる力）と整理し、この3つの力をバランスよく高めることを通して、中学校生活にポジティブな意味づけができる生徒を育てたいと考えています。

バランスよく高めるといえるのは、『非認知能力』にはプラス面とマイナス面があり、高ければ高いだけ良いというものではないからです。「忍耐力」を例にとると、この力が高まれば、規律正しく、がまん強くなります。反面ストレスなどを抱えすぎてしまう心配も出てきます。それでバランスが大切なのです。

ところで、授業では、終盤に「まとめ」と「振り返り」を行うこととされています。「まとめ」は「授業で学習したことを自分の言葉でまとめる」ことで、「振り返り」は「自分自身を客観的に見直してみる」ことです。ですから、「振り返り」は、『非認知能力』を高めるために非常に重要な活動といえます。

これを今回のテーマ「体験から経験、そして学びへ」の視点から、風輝祭練習を例に考えてみましょう。例えば、「ライフ（生活ノート）」に、「今日、風輝祭の練習があった」と振り返るのは「体験」です。「今日、風輝祭の練習があって、すごく戸惑った。理由は、自分の順番をよく確認していなかったからだ」と振り返るのは「経験」になります。「体験」したことで生まれた感情や見出されたことを自分の中に内面化しているからです。さらに、「戸惑わないように、事前に順番を確認しておこう」と振り返ることができれば、「学び」になります。「経験」から得た教訓や改善点、これからの見通しをもっているからです。この教訓や改善点、見通しを意識して行動することで、様々な能力を獲得し成長できるのです。



『見通し』をもって『行動』し、『振り返り』から次の『見通し』をもつことを「AARサイクル」といいます。風輝祭で軍や学年を超えて互いを応援し盛り上がる楽しさを味わうため、合唱祭で仲間と協力して合唱を作り上げる楽しさを味わうため、事前・中間・事後の『振り返り』を行うことで、「AARサイクル」を回し、『非認知能力』をバランスよく高めたいと思います。

令和7年度「教育ビジョン評価」の結果



7月に実施しました学校評価に関わるアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

生徒のみなさん、保護者の皆さまからいただいた貴重な回答結果をもとに、今後の教育活動の工夫と改善を図ってまいります。今回の学校だよりでは、「教育ビジョン評価重点3項目」の結果についてお知らせします。保護者アンケートの結果報告については、次号（9月風輝祭特集号）に掲載します。

重点1 めあてをもって最後までやりぬく生徒

【方策・手立て】

- ・教師の日常的な見取りとフィードバックで、生徒に意識づける取組を意識的に行う。
- ・生徒が自主的に《向上を目指す3つの力》を伸ばす環境・状況を意図的に仕掛ける。
- ・生徒による振り返りを習慣化し、自分自身を客観的に言語化する力を高める。

【中間評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア あきらめず、ねばり強く学習や生活に取り組むことができる (生徒アンケート：肯定的評価)	80%以上	前期	87.1%	B
		前年度	88.7%	
イ 生徒に、やる気や向上心、自制心や忍耐力が育っている (教職員アンケート：肯定的評価)	80%以上	前期	やる気向上心 100%	A
			自制心忍耐力 81.3%	
ウ 子どもと進路や将来の夢についてよく話している (保護者アンケート：肯定的評価)	80%以上	前期	76.3%	C
		前年度	89.7%	

【課題と改善策】

「ギミック」(生徒の感情に意図的に働きかける授業の仕掛け)により、生徒が《向上を目指す3つの力》を身に付けられる環境や状況の設定を心掛けました。さらに、生徒の自制心や忍耐力を高める「ギミック」を工夫し、「振り返り」の習慣化に取り組みます。生徒が主体的・協働的に学び、なりたい自分に向かう姿をいろいろな場面で示すことができるよう、保護者の皆さまと共に、生徒が未来に向かってめあてをもち、最後までやりぬくことができるよう支援したいと考えています。

重点2 他を思いやり 励まし合って 互いに向上しようとする生徒

【方策・手立て】

- ・“傾聴”を核として、誰もが安心して学習・生活できる学級づくり・集団づくりに努める。
- ・生徒全員でクラスの問題を話し合い、解決策を考え、所属感・信頼感・貢献感を育てる。
- ・学年通信・学級通信を適時的フィードバックのツールとして活用し、保護者とも共有する。

【中間評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア 友達と力を合わせて学習したり、活動したりしている (生徒アンケート：肯定的評価)	80%以上	前期	94.3%	A
		前年度	96.5%	
イ 生徒に、協調性や共感性、コミュニケーション力が育っている (教職員アンケート：肯定的評価)	80%以上	前期	93.8%	A
		前年度	—	
ウ 子どもに思いやりの心や仲間を大切にする心が育っている (保護者アンケート：肯定的評価)	80%以上	前期	96.7%	A
		前年度	98.5%	

【課題と改善策】

「クラス会議」による話し合い活動を意図的に行うことにより、生徒全員でクラスの問題等を話し合い、解決策を考え、実践することを通して、所属感・信頼感・貢献感を育む効果があったと捉えています。また、学年・学級通信で保護者の皆さまへの広報も継続して行いました。保護者アンケートの自由記述に、「学級通信の内容がすばらしい。道徳やクラス会議、たくさんの写真、子どもたちの感想から、協力や思いやりなど生きていく中で大切なことを考えさせてもらっている。大変感謝している」という感想を寄せていただきました。昨年度と比して、生徒アンケート・保護者アンケートの達成状況が下回りましたが、上記の感想を支えとして、さらに学校の取組を生徒と共有・実践し、その様子を保護者の皆さまへ伝えていく努力をしていきたいと考えています。

重点3 すべての生徒が3年間を楽しく過ごせる学校

【手立て】

- ・教育目標を具体的な行動指標へと落とし込んでいくプロセスをチーム学校として取り組む。
- ・体験から経験、経験から学びへと向かう「AAR サイクル」により、振り返りの質を高める。
- ・「キャリアノート」との関連を工夫し、振り返りによる自己客観視に向かう評価に努める。

【中間評価】

評価対象項目	達成基準	学期	達成状況	評価
ア 学校生活は楽しい (生徒アンケート：肯定的評価)	90% 以上	前期	90.8%	B
		前年度	93.7%	
イ 生徒は、楽しく学校生活を送っている (教職員アンケート：肯定的評価)	90% 以上	前期	100%	A
		前年度	—	
ウ 子どもの学校生活は楽しく充実している (保護者アンケート：肯定的評価)	90% 以上	前期	97.8%	A
		前年度	94.1%	

【課題と改善策】

夏季職員研修で、教育目標を具体的な行動指標へと落とし込んでいくプロセスに取り組みました。これから予定されている風輝祭や合唱祭などの学校行事にあたり、《向上を目指す3つの力》の観点から事前・中間・事後の振り返りを計画的に行い、「見通し」→「行動」→「振り返り」の「AAR サイクル」を回していきたいと考えています。その際、「キャリアノート」との関連を図ったうえで、生徒が今の自分を自己認識し、自己客観視と自己調整により内面化するためのツールとして「振り返りシート」の活用を進めます。これらの取組を通じて、生徒の自分自身をメタ認知する力と振り返りの質を高めることが課題であると捉えています。加えて、教師の日常的な見取りとフィードバックによる意識づけの質を高めるため、チーム学校として「気づき」→「読み解き」→「意味づけ」のレンズをさらに磨いていきたいと考えています。

保小中連携推進協議会 夏季研修会を実施しました!!

8月1日(金)、徳留 宏紀 様(三宅町立三宅幼稚園園長 Nordic Educations 代表)を講師としてお招きし、「保小中一貫教育で伸ばす・育む非認知能力」と題して研修会を行いました。研修会では、学区のこども園の職員を含め、小中の教職員、学校運営協議会委員、PTA役員等が合同で、中学校区全体で育む「非認知能力」について共通理解を図りました。研修会を受けた各学校での取組を検討し、実践を保小中連携推進協議会秋季研修会で共有し、系統性ある保小中一貫教育を目指すこととしています。



研修会の様子

〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん（3年生） 英語発表会 スキット部門で発表

8月20日、黒崎市民会館で第34回新潟市中学校英語発表会が行われ、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんがスキットを発表しました。
“Let's have a party!”と題して、パーティー実行委員の2人が、どんなパーティーにするか準備する様子を英語で演じました。
スーパースターがたくさん登場して、会場を沸かせてくれました。



合唱コンクールの結果

音楽部は、8月7日（木）に新潟テルサで開催された第92回NHK全国学校音楽コンクール新潟県大会に出場し、奨励賞をいただきました。

また、8月24日（日）には、新潟県民会館で開催された第66回全日本合唱コンクール新潟県大会に出場し、銅賞をいただきました。

夏休み期間中も連日の猛暑の中、熱心に練習に取り組んだ成果を発揮することができ、素晴らしい演奏を披露してくれました。赤塚中学校音楽部だからこそ創ることができ、音楽部全員の力で最大限発揮してくれたと思います。



夏季球技大会の結果

7月18日（金）に赤塚中学校体育館で夏季球技大会が行われました。種目はバレーボールで、1年生から3年生が各クラス男女別にトーナメント戦を行いました。

大変な暑さの中でしたが、試合のないときは控室でクールダウンしたり、給水タイムを設けたりして熱中症予防に努めたため、具合の悪くなる生徒もなく、とても盛り上がった大会となりました。

結果は、女子1位3年B組、2位3年A組。男子1位3年A組、2位3年B組となりました。



第30回 風輝祭 スローガンが決定しました!!

9月13日（土）に開催される風輝祭のスローガンは、『百花繚乱 ～燃やせ魂 華となれ～』です。百花繚乱とは、色とりどりの花が乱れ咲く様子を表す言葉で、一人一人の個性が輝く風輝祭を目指します。今年度の風輝祭は、青軍と赤軍の2つの軍団に分かれて、応援の部と競技の部の優勝を争います。それぞれの軍団の編成は、青軍が3年A組・1年B組・2年B、赤軍が3年B組・1年A組・2年Aとなります。Ⅱ期テスト終了後に練習や準備が本格的に始まる予定です。

多くのご家族の皆さまに応援にいらしていただけることを楽しみにしています。



9月の主な予定

9月の主な予定				
9/1（月）	専門委員会 教育実習 フッ素洗口	9/15（月）	敬老の日	
2（火）	全校朝会（湯普請） スクールカウンセラー来校日 AS 数学	16（火）	風輝祭振替休日	
3（水）	AS 英	17（水）	短縮時程 専門委員会 部活動強調週間（～26日）	
4（木）	ALT	19（金）	激励会	
5（金）	短縮時程 昼休後清掃 風輝祭優先期間（～12日）	22（月）	生徒朝会 フッ素洗口 いじめアンケート	
8（月）	短縮時程 昼休後清掃（～12日）	23（火）	秋分の日	
10（水）	風輝祭打合せ	24（水）	短縮時程	
11（木）	風輝祭予行	25（木）	短縮時程 AS 数	
12（金）	風輝祭予行（予備日）	26（金）	短縮時程	
13（土）	第30回風輝祭 給食なし 午前放課	29（月）	新人大会 3学年実力テスト②	
14（日）	風輝祭予備日	30（火）	衣替え移行期間（～10/11） AS 英	